

「宗谷本線 塩狩駅存続を求める要望」署名簿

要望の趣旨

2018年4月28日付北海道新聞の報道にある「廃止を含めた管理見直し」対象の駅には塩狩駅も列記されています。塩狩駅は、三浦綾子氏の小説「塩狩峠」の舞台にもなった塩狩峠に立つ大切な駅であり、和寒町の観光の拠点でもあります。

多くの旅人、鉄道ファン、三浦綾子ファン、そして塩狩駅を愛する人たちが、塩狩駅がなくなるかもしれない、という事実を嘆き悲しんでいます。

また、塩狩駅は多くの旅人たちの交通手段であり、旅人が集う塩狩ヒュッテにとってはなくてはならない駅です。塩狩駅がなくなってしまうとは、塩狩ヒュッテの経営が行き詰ります。

和寒町にとっても、これから塩狩峠を観光地としてさらに整備していこうとするなかで、塩狩駅がなくなってしまうとは、塩狩峠に足を運ぶ人が減ってしまいます。塩狩駅があつてこそこの塩狩峠であり、塩狩峠に塩狩駅をなくしてしまつてはいけません。

わたしたちは、塩狩駅の存続を要望致します。

年 月 日

北海道旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 殿

和寒町長 殿

署名者代表 塩狩ヒュッテ 合田康代

〒098-0125 北海道上川郡和寒町字塩狩 503 番地 2

電話 090-1963-3524 電子メール shiokari.info@gmail.com

ご氏名	ご住所	メッセージ